



会場参加のようす

プラスチックごみを考える学習会

主催：大阪府生活協同組合連合会・全大阪消費者団体連絡会・地球環境市民会議（CASA）

12月8日 会場参加 2名（大阪産業創造館）

ウェブ参加 23名（城東組合員会館ふくむ）

「家庭のプラごみ調べ」では大阪府下全体の調査参加者204名のうち、30歳代から60歳代以上のどの世代からも参加があり、若い世代でも関心があることが分かりました。取り組み後の意識についての調査も、6割の方に「買い物やゴミ出し時にプラごみを意識するようになった」との回答があり、「世の中の人みんなに知ってほしい調査だと思った」「子どもと一緒にチェックして、自分が出したプラごみの多さに驚いていた」「魚や鳥が海洋プラスチックのために苦しんでいる現状を幼稚園・学校・企業でPRすべきと思う」という感想も出されました。



全大阪消費者団体連絡会などが呼びかけて取り組まれた「家庭のプラごみ調べ」。プラスチックごみの問題を日々の暮らしから考えるスタートにしようと、2020年6月から12月まで実施し、多くの組合員さんが調査に参加されました。その中間報告と、大阪商業大学准教授・原田さんによる「家庭系プラごみ処理の現状と課題」についての学習会がありました。（講演内容については2ページへ）



今回の学習会は、新型コロナウイルス感染症対策のために会場参加とウェブ参加に分かれて実施（写真は城東組合員会館のようす）

パルコプの組合員さんにも調査に参加いただきありがとうございました（結果は2ページ）



岩手からの復興だより ③4

令和元年から4代目理事長に復帰しています。おおさかパルコプの皆さんには被災地支援ということで人・物・金の全面的な支援を頂きました。心から御礼申し上げます。

まごころネットでは平成25年に釜石市内に障がい者の就労支援事業所を開設、30人の利用者が通っています。作業種目は手芸品や裂き織マスク等で、26年からブドウの栽培とワインの醸造・販売も行なっています。昨年産ワインはコロナ禍で販売低迷、今年産ワインは2千本ほど醸造できましたが試飲・販売会等も自粛せざるを得ず、厳しい状況が続きます。何とか試飲や販売の機会を作りたいと願っております。

遠野まごころネットさんのウェブショップへ
<https://magokoronet.shopselect.net/>



これからも被災地に寄り添って

遠野市

NPO法人 遠野まごころネット
理事長 佐藤 正市さん

